

令和2年度 今治北高等学校 英語科学習到達目標（普通科）

【卒業時】

英語を通じて、場面やトピックに応じて適切な意思疎通ができる。



【第3学年】 履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（4単位）及び「英語表現Ⅱ」（文型3単位／理型2単位）
「英語会話」（文型選択生2単位）

| 話すこと | | 聞くこと | |
|---|--|---|--|
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・トピックに応じたビジュアルエイドを活用し、論理的に話すことができる。 ・与えられたトピックについて、客観的な証拠を提示しながら論理的に話すことができる。 ・様々なトピックについて、即興で考えや感想などを話すことができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ ・プレゼンテーション 英語表現Ⅱ ・マイクロイベント 英語会話 ・1分間スピーチ | ・様々なトピックについて、情報を的確に捉えることができる。 ・内容が理解できないときには聞き返すなどして、コミュニケーション活動を継続する工夫ができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ ・プレゼンテーション 英語表現Ⅱ ・マイクロイベント 英語会話 ・1分間スピーチ |
| 書くこと | | 読むこと | |
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・まとまりのある文章の要点を捉え、言い換え表現などを駆使して筋の通った要約文を書くことができる。 ・自分の考えや感想などを、100語程度で論理的に書くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ ・サマライティング 英語表現Ⅱ ・エッセイライティング 英語会話 | ・文章に応じた読み方で必要な情報を的確に得ることができる。 ・書かれてある内容に対して、自分なりの見解を持ちながら読むことができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅱ 英語会話 |

【第2学年】 履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（4単位）及び「英語表現Ⅱ」（文型3単位／理型2単位）

| 話すこと | | 聞くこと | |
|--|---|--|--|
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・与えられたトピックについて、プレゼンテーションソフトを効果的に活用しながら論理的に話すことができる。 ・与えられたトピックについて、客観的な証拠を提示しながら論理的に話すことができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ ・プレゼンテーション 英語表現Ⅱ ・マイクロイベント | ・様々なトピックについて、必要な情報を的確に捉えることができる。 ・内容が理解できないときには聞き返すなどして、コミュニケーション活動を継続する工夫ができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ ・プレゼンテーション 英語表現Ⅱ ・マイクロイベント |
| 書くこと | | 読むこと | |
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・まとまりのある文章の要点を捉え、筋の通った要約文を書くことができる。 ・自分の考えや感想などを、50語程度で論理的に書くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ ・サマライティング 英語表現Ⅱ ・エッセイライティング | ・英文の内容を、英語の語順で理解することができる。 ・英文のパラグラフの構造を考えながら、細部まで読み取ることができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅱ |

【第1学年】 履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（4単位）及び「英語表現Ⅰ」（2単位）

| 話すこと | | 聞くこと | |
|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・与えられたトピックについて、論理的に話すことができる。 ・様々なトピックについて、即興で考えや感想などを話すことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ ・Show & Tell ・1分間スピーチ 英語表現Ⅰ ・Show & Tell ・1分間スピーチ | ・様々なトピックについて、ゆっくり話されれば概要を捉えることができる。 ・分からない表現があっても、意味を類推しながら聞くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ ・Show & Tell ・1分間スピーチ 英語表現Ⅰ ・Show & Tell ・1分間スピーチ |
| 書くこと | | 読むこと | |
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・与えられたトピックについて、自分の考えや感想などを論理的に書くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ 英語表現Ⅰ ・エッセイライティング | ・英文の内容を、英語の語順で理解することができる。 ・英文に関する質問に対して、根拠文を素早く検索することができる。 ・分からない表現があっても、意味を類推しながら読むことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ 英語表現Ⅰ |

令和2年度 愛媛県立今治北高等学校 英語科学習到達目標（商業科）

【卒業時】

英語を通じて、場面や状況に応じて、相手の伝えたいことの概要を理解し、自分が伝えたいことを簡潔に表現することができる。

「外国語表現の能力」

「外国語理解の能力」

【第3学年】

履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（3単位）及び「英語表現Ⅰ」（選択生2単位）

| 話すこと | | 聞くこと | |
|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・トピックに応じたビジュアルエイドを活用し、論理的に話すことができる。 ・与えられたトピックについて、客観的な証拠を提示しながら論理的に話すことができる。 ・様々なトピックについて、即興で考えや感想などを話すことができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ ・プレゼンテーション 英語表現Ⅰ ・プレゼンテーション ・1分間スピーチ | ・様々なトピックについて、情報を的確に捉えることができる。 ・内容が理解できないときには聞き返すなどして、コミュニケーション活動を継続する工夫ができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ ・プレゼンテーション 英語表現Ⅰ ・プレゼンテーション ・1分間スピーチ |
| 書くこと | | 読むこと | |
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・まとまりのある文章の要点を捉え、言い換え表現などを駆使して筋の通った要約文を書くことができる。 ・自分の考えや感想などを、50語程度で論理的に書くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ ・エッセイライティング 英語表現Ⅰ | ・文章に応じた読み方で必要な情報を的確に得ることができる。 ・書かれてある内容に対して、自分なりの見解を持ちながら読むことができる。 | コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ |

【第2学年】

履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（4単位）

| 話すこと | | 聞くこと | |
|--|-----------------------------|--|----------------------------|
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・与えられたトピックについて、プレゼンテーションソフトを効果的に活用しながら論理的に話すことができる。 ・与えられたトピックについて、客観的な証拠を提示しながら論理的に話すことができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ ・プレゼンテーション | ・様々なトピックについて、必要な情報を的確に捉えることができる。 ・内容が理解できないときには聞き返すなどして、コミュニケーション活動を継続する工夫ができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ ・プレゼンテーション |
| 書くこと | | 読むこと | |
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・まとまりのある文章の要点を捉え、筋の通った要約文を書くことができる。 ・自分の考えや感想などを、50語程度で論理的に書くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ ・エッセイライティング | ・英文の内容を、英語の語順で理解することができる。 ・英文のパラグラフの構造を考えながら、細部まで読み取ることができる。 | コミュニケーション英語Ⅱ |

【第1学年】

履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（4単位）

| 話すこと | | 聞くこと | |
|---|--|---|--|
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・与えられたトピックについて、論理的に話すことができる。 ・様々なトピックについて、即興で考えや感想などを話すことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ ・Show & Tell ・1分間スピーチ | ・様々なトピックについて、ゆっくり話されれば概要を捉えることができる。 ・分からない表現があっても、意味を類推しながら聞くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ ・Show & Tell ・1分間スピーチ |
| 書くこと | | 読むこと | |
| 学習到達目標 | 主な科目・活動 | 学習到達目標 | 主な科目・活動 |
| ・与えられたトピックについて、自分の考えや感想などを論理的に書くことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ ・エッセイライティング | ・英文の内容を、英語の語順で理解することができる。 ・英文に関する質問に対して、根拠文を素早く検索することができる。 ・分からない表現があっても、意味を類推しながら読むことができる。 | コミュニケーション英語Ⅰ |